

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 02月 28日

事業所名 エチュード

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	利用児童や活動内容に合わせて活動場所を区切るなどして、環境を整えている	
	2	職員の配置数は適切である	6	2	人員基準配置を満たした職員配置を行なっている。	人員基準は満たしているが人手が足りないと感じる時があるのでパートさんを雇うなどで対応できるか打診中
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	視覚支援ツールを用いて、わかりやすいスケジュール表を作成し、見通しを持った活動が出来るよう配慮している	現在は車いすの方がいないが、建物の構造上、車いすの利用者が来られた場合は入口の段差などで対応できない部分があるので簡易スロープの購入など対応を検討する
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		定期的に研修会を実施し、資質の向上に努めている	
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
提供	17	6	2		パートさんなど、支援中に来られる方への共有が不足する時があるのでホワイトボードへ記入、または文字で伝達する
	18	6	2		パートさんなど、支援中に来られる方への共有が不足する時があるのでホワイトボードへ記入、または文字で伝達する
	19	7	1		
	20	8		担当児制を設けており、担当職員を中心に各児童の支援計画の見直しを行ない、意見を反映しながら実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	6	2		児童発達支援管理責任者のみの参加が多かったので、児童の担当職員も同席し、より良い担当者会議になるよう努めていく。
	22	6	2		
	23				
	24				
	25	6	2		児童発達支援管理責任者のみで実施することが多かったので、児童の担当職員も同席し努めていく。
	26	6	2		児童発達支援管理責任者のみで実施することが多かったので、児童の担当職員も同席し努めていく。
	27	6	2		児童発達支援管理責任者のみで実施することが多かったので、児童の担当職員も同席し努めていく。
	28	2	6		
	29	4	4		
	30	8			
	31	4	4		保護者様の意見を反映しながら、内容を考え実施していく。
32	8				
33	8				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		SNSを活用し、イベントの告知や活動内容の周知を実施している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		来年度以降、内容を考え実施を検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4		保護者様からアレルギー等の説明、対応方法、必要事項等の聞き取りは行なっているが、医師による明確な指示書を作成、用意はしていないので、内容を確認し準備していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。